

第8回 豊岡市公営企業審議会 議事録（要旨）

開催日時 2026年2月17日（木） 14時00分から15時00分まで
開催場所 豊岡市役所 3階 庁議室
出席した委員 都築会長、平野副会長、上田委員、田里委員、中易委員、難波委員、橋本委員
事務局 上下水道部 谷垣部長
水道課 縄手水道課長、川上主幹兼水道経理係長
下水道課 野畑課長、羽瀧参事、山本課長補佐、増田主幹兼下水道経理係長
傍聴者 6名
司会進行 事務局、都築会長

1 開 会（14時00分）

2 会長あいさつ

3 議事録署名委員指名

議事録署名人について、慣例により、委員名簿順（会長・副会長を除く）とし、橋本委員と上田委員を指名

4 議 事

(1) 今後の水道料金・下水道使用料のあり方について《料金等改定の検討》

会 長：前回の審議会で、下水道、使用料の改定についての審議は一通り終了した。あとは、これまでの内容をまとめた答申書を作成し、それを市長に渡して、ようやく終了となる。資料として前回の答申書が配布されているが、これからは今回の私たちの答申書を作成することになる。その前に、これまでの審議会の経緯を改めて事務局から説明願う。

事務局から「1 前回までの審議内容の最終確認」について説明
（質疑）

会 長：最後に説明があった公衆浴場については、閉業中ということだが、これまでの審議を踏まえて、基本使用料のみ税込み1,452円へ改定したいという事務局から提案があったが、異議はないか。

委 員：（異議なし）

会 長：では、公衆浴場の特別使用料についても、基本使用料のみを660円から1,452円に改定することとする。

ここからは答申書の内容について、焦点を合わせていきたいと思う。先ほど事務局から説明があったが、抜けている部分があるかもしれない。そういった場合は、このあとの答申書の内容のところで、発言いただければと思う。

それでは次に進んでいきたいが、よいか。

委 員：(異議なし)

会 長：それでは、答申について検討していきたい。事務局が今までの審議を踏まえた、たたき台となる「案」を作成しているので、まずは、この案について事務局から説明願う。

事務局から「答申案 表紙～1 はじめに」について説明
(質疑)

会 長：事務局の案は「はじめに」で事業の概要を述べ、「答申」で諮問内容、料金・使用料のあり方について回答し、「付帯意見」で料金・使用料以外の意見を述べて、最後に「付属資料」として、審議会のまとめと、審議会で検討した下水道使用料の表と検討内容が付いているという構成になっている。

それでは、先ほど説明された「はじめに」のところで、内容の追加や削除、表現の変更など、何でも結構なので、意見等あるか。あるいは、構成そのものについての意見でも。

委 員：文章のなかで、一般会計から繰入金で毎年減っていくことが書いてないが、入れる必要はないのか。

事務局：導入の部分には入れてないが、一般的な、豊岡市の水道・下水道事業の概要ということで、入れてはある。

委 員：経営が苦しくなる1つの大きな要因は、繰入金が減っていくということもあると思う。

事務局：下水はそうだ。

委 員：ここでは関係ないのか。

事務局：ここでは上下水道共通の「はじめに」としている。指摘の部分は、後段で出てくるので、ここには入れなくていいと考えている。

会 長：気づいた点があれば、途中でも結構なので意見いただければと思う。それでは引き続き、「答申」の部分の検討に移りたい。事務局から説明願う。

事務局から「2 答申」について説明

(質疑)

- 会 長：前回の答申書に倣った形式とのことだ。何か意見はあるか。
先ほど意見があった、一般会計からの繰入金については、入れるなら、
ここか、状況説明の部分か、どこがいいか。
- 事務局：もう1つ後ろの付帯意見の方に盛り込んである。
- 会 長：どの部分か。
- 事務局：下水道事業、オ、5ページ。
- 会 長：そのところでまた説明してほしい。他にないか。
それでは引き続き、「付帯意見」に入る。事務局から説明願う。

事務局から「3 付帯意見」について説明

(質疑)

- 会 長：付帯意見の部分は、答申内容に付属する補足的な意見として、前回の
答申に倣って載せている。何か意見等あるか。
- 委 員：5ページのイに、将来の施設の大量更新の話がある。これまでの審議
会のなかで、20年前ほどに大量に設置されたと話を聞いた。実際の法
定耐用年数とは別に、実際の使用期限がどれぐらいなのかは知らない。
だが、おそらくそのときの改修コストは、この料金値上げでは到底納
まらないと思う。そういう意味ではイとウとカ。ウは下水道事業その
ものの仕組みのあり方、カは市だけでは無理なので、国と連携して改
修コストをどうやって吸収していくか。このあたりについては、今回、
問題提起、一番大事な、将来の宿題ということで残しといた方がいい
と思う。
- 会 長：水洗化率が頭打ちだという話が、前回の答申にも書いてあって今回の
答申にも書いてある。これは、接続を促したときには、かなり、収益
が上がるということか。それとも、微々たるものなのか。
下水道のアの部分。前回のアの部分と今回のアの部分で、下水道の水
栓化率の伸びが頭打ちになっていると、下水道への接続を促すとある。
これが収益を増加させるものなのか。
- 事務局：水洗化率は95.3%ということで、もうほぼ、99%に近い数字なので、
それほど期待する収益になるとは考えていない。
- 会 長：やはり100%を目指してやっていくと。
- 事務局：理想としてはそうだが、経済的な問題があったりするので、なかなか
上がっていかない。その世代が今後どうなっていくか。新しい世代に
代わっていけば、下水に接続する話もあると思うので努力していきたい。

会 長：他にないか。

それでは引き続き、「付属資料」に入る。事務局から説明願う。

事務局から「4 付属資料」について説明
(質疑)

会 長：付属資料は、前回の答申に倣っている。検討内容を新たに付け加える
ことで、何が議論されたのか、わかりやすくまとめられている。
他にないか。誤字脱字等は連絡いただければと思う。
本日は以上とする。

事務局から、答申書への意見を3月19日までにメールでの提出を依頼

会 長：以上で本日の議事は終了した。ここで、委員の皆様から何か意見、要
望等があるか。
それでは残すところ、最後1回となった。もう少し、最後まで、おつ
き合いいただければと思う。

事務局から、次回の予定・流れについて説明

5 その他

事務局から、次回の開催予定について、改めてメールする旨を説明。

6 閉 会 (15時00分)

平野副会長あいさつ